

今日から
変われる

腹部エコー実技スクールSTEP3

精度も効率も満足させる 走査法のすすめ

今、私たちは精度と効率を求められています！

2016年

3月20日 日 9:00-17:30

会場:博多バスターミナルビル9F(博多駅中央街2-1)

会費:27000円(税込) 定員30名

スケジュール

09:00	受付開始	9:30	オリエンテーション
09:35	レクチャー 1	“究極の精度と効率～基本走査法～” TOS(大分県済生会日田病院) 検査士 吉村昭宏	
10:20	実技 1	仰臥位、左側臥位でのポイント	
12:10	ランチョンセミナー	“超音波検査 診と断の間にあるもの” 医療法人長村医院 医師 馬場三男先生	
13:00	実技 2	座位、右側臥位でのポイント	
14:50	実技 3	さあ基本走査法の実践です	
16:50	レクチャー 2	“なぜ見落としは起こるのか？～腹部エコーの死角を攻める～” TOS(メディテックアシスト) 検査士 谷村勝宏	
17:30	閉会		

詳細

2014年4月、腹部超音波検診判定マニュアルが示されました。これは腹部超音波検診における判定基準を普及させ検査法の質的向上と均質化を認めることが目的と考えられます。また、がん検診としての精度ならびに有効性の評価を目指すための手法と思われる。この中では“10分以内に検査を終える技術”が求められていますが、“精度”を犠牲にしては意味がありません。全国労働衛生団体連合会が行った精度管理では『臍尾部』『臍内胆管』『肝横隔膜下』などが特に得点の低い部位です。またA～Dで行われる総合判定では昨年度C,Dの施設が16%もあり、改善を求められています。

私どもの推奨する『超音波検査法フォーラムの基本走査法』

(<http://www.museforum.org/>) はこれらを満足できる検査法と考えています。超音波検査法フォーラムの加盟実技スクールは東京以外では福岡のみの開催となります。“1班6名”、“実技時間310分”、“一班2名の指導員だから可能なテーラーメイド指導”、“ランチョンセミナーで時間を有効に活用”

これを機会に基本走査法をマスターしませんか？

お申し込み
お問い合わせ

TOSのウェブサイト<http://tos.yu-yake.com> 研修会案内のページよりお申し込み頂けます。申し込み開始は2016年1月9日(土)～

※ 定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

お問い合わせ先: tos.jimu@gmail.com